

# 徳とく泉く寺ほ報う

No.0012

発行  
平成30年10月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区  
榴岡3-10-3

(022) 297-4248

## お弟子さんがやってきた

私がかんぱったことは清掃です。ぞうきんでは、すみからすみまでふいてとても汗をかきました。外ではざっ草ぬきをしました。おはかの中にたくさんざっ草がはえていたのできれいにできてスッキリしました。

ごんぎょう本を直接たたみにおかないのはよごさないからということがあったので今度からごんぎょう本を持った時にたたみにおかないでタオルの上におきたいです。ほかの人にもおしえてあげたいです。

「いただきます」「ごちそうさまでした」が本当はとても長い言葉だったのがとてもびっくりしました。『み光のもと、われ今幸いにこの清き食をうく。いただきます』『われ今、この清き食を終わりにて心ゆたかに力身にみつ。ごちそうさまでした』この言葉を聞いて食べれることがとても幸せなんだな、と思いました。

毎年、榴岡小学校の四年生が「弟子入り留学」という名で学区内の事業所や施設等へ出掛けて職場体験学習を行います。徳泉寺でも8年前から弟子を受け入れて半日一緒に過ごしています。弟子と言っても将来お坊さんになりたい子ども達が来るわけではなく、働くことの意味や大切さ、自分の適性や将来を見つけるための自分作り教育の一環として徳泉寺を選んでやってきます。



正座をしておつとめ



細かいところまでお墓の草取り

そんな子ども達ですが、弟子入り体験でやってみたいこととして一番多く挙げられるのが『掃除』です。(え、そんなこと?)と思います。が、本堂の清掃、境内の掃き掃除、お墓の草取りと子ども達は普段やったこともない場所の掃除を一生懸命やってくれます。それも楽しんでうに。

普段の生活のなかで、ややもすれば面倒でやりたくないことの上位に来そうな掃除ですが、楽しむ心を持って行えば前向きな気持ちで取り組んで、すっきりと気持ちよい環境を手に入れることができ、そのうえ適度な疲れですがすがしくなり、なんとも良いことづくめだと気づかれます。

弟子入り留学では、半日で ①おつとめ ②法話 ③掃除 ④煎茶の入れ方 ⑤生け花 ⑥腕輪念珠づくり を行い最後と一緒に弁当を食べ帰ります。それぞれ普段の学校生活ではなかなか体験できないことばかりですが、どの行為のなかにも「お寺を訪れる方が気持ちよく過ごせるように」という「心」を持って行うのだ、ということ伝えていきます。お寺は仏法に遭遇する場所であり、先祖を通して自分であって行く場所でもあります。その場所をどのようにしたらいいのか、私たちも毎年お弟子さんと再確認しています。